

茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 伊勢原市, 平塚市における タゲリー斉調査 (2015, 2016 年度)について

樋口公平¹⁾ 平田稔²⁾

はじめに

タゲリ *Vanellus vanellus* (Linnaeus, 1758) は、チドリ科の冬鳥で、神奈川県レッドデータ生物調査報告書(2006)では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。また茅ヶ崎版レッドデータリスト(2006)では絶滅危惧種に位置づけられている。また 2015 年に IUCN(国際自然保護連盟)のレッドデータリストで健在種から準絶滅危惧種に指定され、国際的にも生息の危機が迫っているとされた。

タゲリは春から夏の繁殖期には中国東北部やシベリアなどの湿原で繁殖活動をしている。このような場所での野鳥の繁殖は一般的に地球温暖化により植生の変化や湿原の開発などが繁殖に大きく影響を及ぼしているといわれている。また、冬に日本の暖地に渡ってくるが、湘南地区は越冬地となっている。県や市のレッドデータとなっているのは越冬地の水田の減少やその環境が悪化していることが原因の要因と考えられる。

タゲリの好む越冬地の環境は、平地の見晴らしのよい水田などで、特に湿田が好まれている。

餌は、水田の土の中のミミズや昆虫類などを主として、他にドジョウやトウキョウダルマガエルなどの記録もある。

これらの越冬地環境である県内の水田は、都市化の影響により著しく減少している。茅ヶ崎市も例外ではなく、作付面積は平成元年 113ha、平成 27 年には 38ha になり(2015 年世界農林業センサス 神奈川県)、27 年間で 33%に減少した。

県内のタゲリは、10 数年前までは横浜市や三浦市にも飛来していたが、水田の減少と共にすでに飛来が途絶えており、今回の調査地である茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の湘南地域の越冬地は、東京以西においては東京に最も近い越冬地となっている。

タゲリー斉調査会では減少し続けているタゲリの越冬状況を把握し、保護していくためのデータ収集

を目的として、2000 年から毎年茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市(以下相模川以東地区)でタゲリの越冬個体数や移動ルート of 調査を続けてきた。2011 年度から三翠会が主催を引き継ぎ 2015, 2016 年も調査を継続実施した。

また、2014 年に引き続き平塚市、伊勢原市(以下相模川以西地区)を調査エリアとして加えた。

以下にその結果を報告する。

※「タゲリー斉調査」の構成メンバー

三翠会、茅ヶ崎野外自然史博物館、日本野鳥の会 神奈川支部、神奈川県自然観察指導員連絡会、さむかわエコネット、地域の市民などの有志

1. 調査日時

①2015 年 12 月 13 日 10:00～12:00

②2016 年 12 月 11 日 10:00～12:00

調査日は例年通り 12 月の中旬とした。

2. 調査地点

①2015 年

合計 10 か所の調査地点を下記のように設置した。

・茅ヶ崎市(1 か所)

西久保大町西側・北側(調査本部)

・寒川町(3 か所)

一之宮西・八丁目、一之宮東・大曲三丁目、大曲四丁目・田端

・藤沢市(3 か所)

宮原大昭橋北側、宮原大昭橋南側、宮原寒川広域リサイクルセンター北

・平塚市(1 か所)

北豊田・岡崎

・伊勢原市(2 か所)

伊勢原上平間・平塚市小鍋島、伊勢原沼目・下谷

②2016 年

合計 10 か所の調査地点を下記のように設置した。

・茅ヶ崎市(1 か所)

西久保大町西側・北側（調査本部）

- ・寒川町(3 か所)
一之宮西・八丁目、一之宮東・大曲三丁目、大曲四丁目・田端
- ・藤沢市(3 か所)
宮原大昭橋北側、宮原大昭橋南側、宮原寒川広域リサイクルセンター北
- ・平塚市(2 か所)
北豊田・小鍋島、岡崎・金目
- ・伊勢原市(1 か所)
伊勢原市上平間・下谷

これらの定点は茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町、更に2014年に引き続き平塚市、伊勢原市を加えて過去にタゲリの飛来の情報があつた場所や、飛来の可能性のある場所、当季に確認情報のあるところを選んだ。また地形としては見晴らしのよい水田地帯を選んでいる。

1)調査を取り止めた地点

過去に調査した大庭(藤沢市)、打戻(藤沢市)・芹沢新道橋付近、芹沢農地改良碑付近、下寺尾西方・一ツ橋、下寺尾北方・寺尾橋・岡田(寒川町)と、赤羽根(茅ヶ崎市)の合計6調査地点は、調査を取り止めた。これは過去数年間タゲリ飛来情報が無いことや調査員減のため、可能性の高い地点に振り替えたためである。

2)巡回調査地点の継続設置

調査員減であることから2012年より一之宮西・八丁目、一之宮東・大曲三丁目、田端・大曲四丁目を、巡回調査地点とし、引き続き効率的に調査できるようにした。

更に2014年に引き続き平塚市、伊勢原市を巡回調査地点に加えた。ここは過去に1人程度で参考調査をしていたが、安定的に多い群れが越冬しているため調査地点として加えた。

3. 調査方法

以下のとおり従来と同様の方法を取った。

1)定刻一斉調査

10:00, 10:30, 11:00, 11:30, 12:00 に、各調査地点で一斉にタゲリの個体数を数える。

2)移動ルート調査

各調査地点でタゲリの飛来、飛去、通過を確認した場合その時刻、移動方向、羽数を随時本部に携帯電話で連絡し、本部はその移動先と思われる調査地点に連絡する。このことにより、タゲリの移動ルートを掴む。

各調査地点には、タゲリの識別能力の高いリーダーを含む1〜3人を配置した。

観察には双眼鏡、望遠鏡を使用した。

3)巡回調査

広い定点を少人数で調査する方法として、定点のエリアを満遍なく車で巡回探索する方法。タゲリを発見した場合はその場に張り付き定刻一斉調査にする。

4. 調査参加者

①2015年

- 【西久保大町西・北（調査本部）】鈴木國臣
- 【一之宮西・八丁目】滝田紘一、斉藤光男
- 【一之宮東・大曲三丁目】（滝田紘一、斉藤光男）
- 【田端・大曲四丁目】（滝田紘一、斉藤光男）
- 【宮原大昭橋北側】平岩宏司
- 【宮原大昭橋南側】平田稔、佐藤守
- 【宮原寒川広域リサイクルセンター北】石井大輔、山下一男
- 【平塚北豊田、岡崎】樋口公平、栗田唯
- 【伊勢原上平間、平塚小鍋島】熊澤泰信
- 【伊勢原沼目・下谷】嶋田武夫

②2016年

- 【西久保大町西・北（調査本部）】鈴木國臣
- 【一之宮西・八丁目】滝田紘一、斉藤光男
- 【一之宮東・大曲三丁目】（滝田紘一、斉藤光男）
- 【田端・大曲四丁目】（滝田紘一、斉藤光男）
- 【宮原大昭橋北側】平岩宏司、佐藤成美
- 【宮原大昭橋南側】平田稔、佐藤守
- 【宮原寒川広域リサイクルセンター北】石井大輔、山下一男
- 【平塚北豊田・小鍋島】樋口公平
- 【平塚岡崎・金目】熊澤泰信
- 【伊勢原上平間・下谷】嶋田武夫

地点名の次に書かれている名前の方が各地点のリーダー役とした。

5. 調査結果(表 1)

1) タゲリが確認された調査地点

以下の地点で確認された。

①2015 年

藤沢市：宮原大昭橋南側で 3 羽

平塚市：北豊田・岡崎では 北豊田で 1 羽(若鳥)、岡崎で 6 羽成鳥

伊勢原市：沼目・下谷で 8 羽

②2016 年

藤沢市：宮原大昭橋南側で 4 羽

3) 移動ルート調査の結果

①2015 年

当初、藤沢市宮原大昭橋南側調査地点で確認された 3 羽は、移動することも飛去することもなく同調査地点で確認でき、調査は終了した。また平塚伊勢原地区では、沼目・下谷では 8 羽が調査前から 10:15 まで移動せず、その後一時移動したがまた 7 羽戻ってきた。また平塚市岡崎で 6 羽の群れは 10:45～55 まで岡崎大橋付近にいたが飛び立ち、その方向を探したところ、同じと思われる 6 羽の群れを岡崎西側で発見し 11:47～54 まで確認できた。

②2016 年

当初、藤沢市宮原大昭橋南側調査地点で確認された

4 羽は、近くにカメラマンが居たことによるものか採伊勢原市：上平間・下谷で 5 羽

2) 定刻一斉調査の結果

①2015 年

定刻一斉調査の結果は表 1 のとおりである。まず相模川東側では 3 羽が確認され続け、少なくとも 3 羽以上が渡来していることが確認された。また平塚伊勢原地区では定刻と巡回調査の結果最大で計 15 羽が確認された。

②2016 年

定刻一斉調査の結果は表 1 のとおりである。まず相模川東側では 4 羽が確認され続けた。また平塚伊勢原地区では 5 羽が確認された。

餌・歩行を繰り返しながら隣田への移動していた。その後 11:55 に 3 羽飛翔するも間もなく元の田に降りて、調査は終了した。

一方、伊勢原市上平間地点では 5 羽の群れがまったく移動せずに調査時間中ずっと同じ場所で記録された。

4) 調査エリアに渡来している個体数の推定①2015 年

平塚伊勢原地区では移動ルート調査の際に 10 時 45 分に岡崎で 6 羽、沼目・下谷で 8 羽が同時に確認している。また北豊田の若鳥 1 羽は単独であった。他は成鳥のため、同時刻の確認ではないが合計できる。そのため平塚市と伊勢原市の一帯で 15 羽となる。

表 1 時間別確認個体数(タゲリが確認された地点のみ)

調査地点	調査時間					備考
	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	
2015 年						
藤沢市宮原・大昭橋南側	3	3	3	3	3	
相模川東側合計	3	3	3	3	3	
平塚市北豊田・岡崎	1 若鳥	1 若鳥	0	0	0	10:45 に成鳥 6
伊勢原市沼目・下谷	8	8	0	7	7	10:45 に成鳥 8
平塚伊勢原地区合計	9	9	0	7	7	成鳥 14 + 若鳥 1 = 15
総合計	12	12	3	10	10	18
2016 年						
藤沢市宮原・大昭橋南側	4	4	4	4	4	
相模川東側合計	4	4	4	4	4	
伊勢原市上平間・下谷	5	5	5	5	5	
平塚伊勢原地区合計	5	5	5	5	5	
総合計	9	9	9	9	9	

その際、藤沢市宮原大昭橋南側では継続して3羽が確認できているため、このことから少なくとも合計18羽以上が渡来していることが確認された。

②2016年

平塚伊勢原地区では移動ルート調査の際に同時に5羽確認されている。その際、藤沢市宮原大昭橋南側では継続して4羽が確認できているため、このことから少なくとも合計9羽以上が渡来していることが確認された。

6. 考察

1)地域別の状況について

今回確認された藤沢市宮原の目久尻川流域の水田地帯は、2008年の調査で初めて確認され、9年連続して確認された。ここの水田地帯は面積も広く、エリア内の休耕田や建造物も少ないため見渡しのよいタゲリの好む環境で安定的な越冬地となっている。しかし休耕田が植木の畑などに転作され始めていて、生息環境は少しずつ悪化している。

一之宮、田端、大曲、萩園、西久保は、一帯となった水田エリアで、過去から中心的な越冬地となっていた。確認されていたが、2008年初めてこの一帯からの記録が途絶えてしまった。2009年の調査では記録が復活したがそれ以降今回まで記録が途絶えている。その後は渡りの時期の初期である10月後半から11月前半ころ、不定期に少数の確認例はあるものの、春まで越冬することはなくなってしまった。

相模川以西地区の平塚市、伊勢原市の調査地点は、南側に新幹線、北側には小田原厚木道路があり、開けた広大な水田地帯となっている。過去には車1台の巡回の参考調査をしていたが、20羽前後の群れが確認できていた。今回の2015, 2016年の調査でもまとまった群れが確認できた。広大な場所のためさらに多くの人数を掛けて、調査定点を設け、定刻調査が出来ればもう少し確認数が増える可能性もある。記録地点について相模川以東地区では2006年, 2007年, 2008年には1か所でしか確認できなくなっていたが2009年には2か所、2010年以降は連続で1か所となった。

2)確認羽数の推移について

相模川以東地区について、2000年度65羽以上, 2001年度50羽以上, 2002年度25羽以上, 2003年度は36羽以上, 2004年度は32羽以上, 2005年度は26羽以上, 2006年度は18羽以上, 2007年度13羽以上, 2008年度7羽以上, 2009年17羽以上, 2010年9羽以上, 2011年5羽以上, 2012年3羽以上, 2013年4羽以上, 2014年3羽以上, 2015年3羽以上, 2016年4羽以上と減少の一途をたどっている。

とくに2011年以降は5羽以下が連続していて少数で推移していて増加の傾向は見えないままである。

2014年度から調査地点として正式に加えた相模川以西地区については過去の参考調査のときから20羽前後で推移していたが、2015年15羽以上, 2016年5羽以上と減少傾向が現れてきた。

3)タゲリの減少と保護について

タゲリの確認地点は宮原地区が相模川以東では県内最後の越冬地となっている。

当地は近年休耕田が少しずつ増え、水田から庭木の栽培に転作されるところや用水路のコンクリート化工事が進んでおり、タゲリの生息環境としては悪化の傾向がある。

都市近郊の水田は水生生物や野鳥など多くの生き物を育む場所だけではなく、保水力による洪水の抑止や、ヒートアイランド現象の抑制や癒しなどの空間として人にも役立つ機能を持つ。茅ヶ崎市では西久保の市街化調整区域の水田に遊水地としての助成金が出る仕組みができたが、同様の政策が他市町にも展開されることを望む。

タゲリは水田環境の指標となり、他の水生生物の生息環境としても貴重なため、これからも調査を継続していきたい。

参考文献

- 神奈川県レッドデータ生物調査団編, 1995. 鳥類.
神奈川県レッドデータ生物調査報告書, 140-156.
- 神奈川県立生命の星・地球博物館, 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, 鳥類. 233-264.
- 茅ヶ崎市, 2006. 茅ヶ崎市自然環境評価調査概要報告「自然環境評価マップで茅ヶ崎の自然を見てみよう」, 36-38.
- 樋口公平・岸一弘, 2002. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2000 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (10):29-31.
- 樋口公平・岸一弘, 2003. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2001 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (11):17-19.
- 樋口公平・岸一弘, 2004. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 横浜市戸塚区におけるタゲリー斉調査(2002 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (12):25-27.
- 樋口公平・岸一弘, 2005. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2003 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (13):1-3.
- 樋口公平・岸一弘, 2006. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2004 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (14):1-3.
- 樋口公平・岸一弘, 2007. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2005 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (15):11-13.
- 樋口公平, 2008. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2006 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (17):1-3.
- 樋口公平, 2009. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2007 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (18):1-3.
- 樋口公平, 2010. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2008 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (19):11-14.
- 樋口公平, 2011. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2009 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (20):69-72.
- 樋口公平, 平田稔 2012. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2010 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (21):57-60.
- 樋口公平, 平田稔 2013. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2011 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (22):13-16.
- 樋口公平, 平田稔 2014. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2012 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (23):1-16.
- 樋口公平, 平田稔 2016. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 伊勢原市, 平塚市におけるタゲリー斉調査(2013, 2014 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (25):23-27.

1) 三翠会・日本野鳥の会神奈川支部

2) 三翠会・日本野鳥の会神奈川支部